

日本学術会議
東日本大震災復興支援委員会（第 23 期第 3 回）
議事要旨

1. 日時 2015 年 12 月 18 日(金) 13:30～13:35

2. 場所 日本学術会議 大会議室

3. 出席者：大西委員長、井野瀬幹事、花木幹事、小森田委員、小松委員、恒吉委員、長野委員、大政委員、石川委員、福田委員、相原委員、土井委員、大野委員 12 名

欠席者：向井副委員長、杉田委員、福田委員、川合委員 4 名

4. 配布資料

資料 1	前回議事要旨（案）
資料 2	日本学術会議主催学術フォーラム「原子力発電所事故と汚染水対策」（仮題）の開催について
参考資料	委員名簿

5. 議事

1) 前回議事要旨（案）の確認

前回議事要旨の確認（案）が原案（資料 1）通り了承された。

2) 日本学術会議主催学術フォーラム「原子力発電所事故と汚染水対策」（仮題）の開催について

事務局より、「資料 2 日本学術会議主催学術フォーラム「原子力発電所事故と汚染水対策」（仮題）の開催について」にもとづいて、説明が行われた。主な点は次のとおり。

- ・ 日時は平成 28 年 4 月 23 日（土）12：30～17：30、場所は日本学術会議講堂を予定している。
- ・ 開催趣旨としては、現在、福島第一原子力発電所で起こっている汚染水問題について 3 つのセッションに分けて議論するものである。一つ目のセッションは「福島第一原子力発電所の立地と事故前の状況」として、調整中であるが東京電力担当者により、常時の地下水対策及び事故前の状況についてご講演いただく予定である。二つ目のセッションは「福島第一原子力発電所事故による汚染水問題と対策」として、調整中であるが原子力災害対策本部廃炉・汚染水対策チームよりご講演いただく予定である。2 つのセッションを踏まえ、3 つ目のセッションは「未経験の重大事故対策に関する開かれた議論」として、様々な

立場の専門家により意見交換・議論いただく予定である（パネルディスカッション）。

事務局の説明を踏まえて意見交換が行われた。主な発言は次のとおり。

- ・資料２のパネルディスカッションの部分に「講演後、登壇者による議論」とある。登壇者とは、当該部分に掲載されている方々のみを指すのか。壇上に座ることができる定員は７名と承知しているが、すでに８名の方々が掲載されている。工夫する必要がある。
- コーディネーターの先生におかれては、基本的には、可能であれば一つ目・二つ目の登壇者にも参加いただくことを考えていると理解している。パネルディスカッションの部分は調整した上、修正する。
- ・資料２の開催趣旨の第一段落最後に「安全を第一におき建設され運転されてきた。」とあるが、「安全に配慮し」等に言い換えた方が良好だろう。
- ・開催趣旨の第一段落・第二段落・第三段落とで、関係性が分かりづらい。表現の仕方もデリケートで難しいと考えるが、第一段落では、安全を第一に運転してきた、第二段落では、複雑に関係して成り立っている、第三段落では、事故が起こったことが書かれている。素直に読むとどういうつながりがあるのか分からない。接続詞でつなぐ等した方が良好と考える。
- 第二段落文頭へ「しかし」又は「一方で」等の接続詞を挿入し、第三段落文頭へは「そうした中」等を挿入すると良いかと考える。本学術フォーラムの実施主体となる汚染水問題対応検討分科会の委員でもある花木幹事預かりとして、本委員会での意見を踏まえ修文することとしたい。なお、その後、委員長が確認することとする。

提案書の修文を条件に、日本学術会議主催学術フォーラム「原子力発電所事故と汚染水対策」（仮題）の開催について、了承された。

以上